

【栄養管理部の紹介】

管理栄養士5名在職(日本糖尿病療養指導士3名 NST専門療法士2名 がん病態栄養専門管理栄養士1名)、給食管理は全面委託を行っている給食委託会社の方と協同し運営しています。

主な業務は栄養管理計画の作成・実施・評価や栄養指導などの栄養管理業務で、日々患者さんの栄養管理に努めています。業務概要について説明しますと

【栄養管理業務】

○栄養管理計画：入院目的に沿った栄養管理を目標に栄養計画を立案します。適宜ベッドサイドに訪問し、患者さんの状態を把握、状況に応じて主治医や他職種と相談しながら調整を行っています。

○栄養指導：集団栄養指導は糖尿病教室を実施。個別栄養指導は糖尿病内科、循環器科、脳外科を中心に実施、嚥下状態に適した形態についての退院前指導も行っています。

糖尿病教育入院も行っており、他職種と連携し、患者さんの療養指導を行っています。

【チーム医療】

●糖尿病チーム：糖尿病専門医のもと1型、2型糖尿病患者さんへの個別指導、糖尿病透析予防指導などを実施、インスリンポンプやフリースタイルリブレの使用症例もチームで介入しています。

●NST：当院は日本臨床栄養代謝学会（JSPEN）のNST稼働施設として認定されています。主治医からの介入依頼以外の症例も多職種から幅広く受け付け、早期介入を行っています。回診は全病棟を対象に1回/週3チームに分かれて実施、毎月のNSTカンファレンスやNST勉強会を通して日々栄養療法についての研鑽を行っています。

管理栄養士の役割として経腸栄養管理の計画立案や経口調整などの計画を担当しています。

●褥瘡チーム：褥瘡回診を通して褥瘡状態を確認しながら、NSTと連携し栄養状態をサポートしています。

●心不全チーム：心臓リハビリや心不全指導の一環で、給食管理の個別調整や栄養指導を実施し、患者さんの栄養状態をサポートしています。

●呼吸ケアチーム（RST）：呼吸管理についてNSTと連携しながら栄養状態をサポート、院内へ栄養情報の提供なども行っています。

【求める人物像】

2020年度の診療報酬改定に伴う業務拡大と、育児休暇の欠員補充で管理栄養士増員となりました。

当院では、全員が全ての管理栄養士業務を担当できる事を目標とし、医療の一端を担う者として、患者さん個々に応じて根拠に基づいた栄養介入を行うことを原則としています。患者さんの栄養介入に悩んでいる時でも、他の管理栄養士やチーム医療を通して他職種との相談もしやすい職場です。

教育入院での関わりから始まり、外来栄養指導でHbA1C含めた改善がみられ、患者さんに感謝の言葉を頂いた時や、栄養管理計画を通して患者さんにより変化が見られた時、NSTでの関わりで経管栄養から経口摂取ができるようになりADL改善に至った場合などは最も栄養士業務にやり甲斐を感じる幸せな体験です。

当院の業務に興味をもち、向上心を持って一緒に頑張っておられる方のご応募を心よりお待ちしております。